

平成23年度予算編成に向けての
提言書

平成22年11月1日

藤枝市議会決算特別委員会

はじめに

現在、国においては、国と地方の在り方を大きく変えて行こうという地方主権改革への取り組みが進められております。地方主権改革は、単なる制度改革ではなく、地方が自らの判断と責任において地方の課題に取り組むことで地域の暮らしと住民自治の営みを豊かにすることにあります。

地方主権改革に伴う国から地方への補助金制度から一括交付金への制度転換は、本市においても大きな影響が予想されます。また、不透明な経済状況の中で市税等による自主財源の確保も大変厳しい状況となっており、無駄のない、より効果的な予算編成及び執行が課題となっています。

このようなことから、藤枝市議会としても議会改革への取り組みの一環として、予算及び決算審査のあり方の検討を進める中で、従来の各常任委員会による分割付託審査から、ひとつの委員会で一括審査し、市の事業全体を全般的・体系的に審査・調査することにより十分な検証作業を行い、新年度の予算編成に対し効果的な提言を行うことを目的に、平成22年6月24日、委員11名で構成される藤枝市議会決算特別委員会を設置いたしました。

本特別委員会では、公正かつ適正な審査及び監視とあわせて、審査結果を議会として執行部に伝えていく役割も重要であるという認識の下、重要な施策事業等に対する事業評価を行い、新年度におけるより効果的な予算編成に向けての提言を行うことといたしました。

事業評価については、執行部が平成21年度に行った「全事業の総点検シート」の結果及び平成21年度当初予算概要の施策別主要事業等の取り組み方針を踏まえ、主要施策事業、新規事業及び長期継続事業などを中心に事業の

抽出を行い評価したものであります。当初、本特別委員会として94項目の事業についてのリストアップを行い、それぞれの担当所管部署より「平成21年度事業評価 決算審査用調書」の提出を求め、その中からさらに70項目の事業に絞り込み、評価を行いました。この70項目の事業については、これまでの進捗状況及び成果、課題解決に向けた取り組み等、新年度に向けての事業取り組みへの方向性について提言すべく、今日まで本委員会を9回開催し、精力的に調査、議論を重ねてまいりました。

本提言書は、この70項目の事業の中から、各分野別の主要な事業23項目について、本特別委員会としての「平成21年度の進捗（決算）についての評価」、「課題解決に向けての意見・提案等」、「平成23年度予算編成への提言」をまとめたものであります。

執行部におかれては、本提言を参考とされ、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを願うものであります。

なお、70項目の事業に関する決算審査記録（別冊）も併せて添付いたしましたので、それぞれの事業の評価、意見及び提言等も十分参考にして、改善の参考としていただければ幸甚であります。

◆目次◆

※No.は、全事業の総点検シートに記載されたNo.を引用しています。

No.	課名	小事業名	所管委員会	ページ
174	市民協働課	防犯協会負担金	総消	4
66	広報課	広報活動費	総消	5
243	街道・文化課	岡部宿内野本陣整備事業費	総消	6
275	スポーツ振興課	全国PK選手権大会事業費補助金	総消	7
128	経理課	(病院事業会計)負担金	健福	8
129	経理課	(病院事業会計)出資金	健福	9
369	児童課	放課後児童健全育成事業費(運営)	健福	10
468	健康推進課	妊婦健康診査費	健福	11
478	健康推進課	特定不妊治療助成費	健福	12
859	生活環境課	生ごみ減量化対策事業費	文教建	13
625	農林課	茶どころ推進事業費	文教建	14
634	中山間地域活性化推進室	デュアルライフ推進事業費	文教建	15
636	農林課	一社一村推進運動事業費	文教建	16
651	瀬戸谷総合管理センター	中山間地域総合整備関連事業	文教建	17
599	企業立地推進課	企業立地促進事業費補助金	文教建	18
751	道路課	橋梁(大規模)長寿命化修繕計画策定事業費	文教建	19
744	建設管理課	第2種交通安全施設整備工事費	文教建	20
760	道路課	天王町仮宿線(潮・仮宿)道路整備事業費	文教建	21
843	建築住宅課	わが家の耐震対策助成事業費	文教建	22
818	中心市街地活性化推進室	中心市街地活性化推進事業費	文教建	23
966	学校教育課	英語指導助手諸経費	文教建	24
967	学校教育課	適応指導教室等活動事務費	文教建	25
969	学校教育課	心の教室相談員活用事業	文教建	26

No. 174

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 防犯協会負担金

担当： 市民文化部
市民協働課

決算書ページ P. 112	2款 1項 5目	備考No.2(8)
---------------	----------	-----------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 警察関係機関・団体と連携協力して、地域における防犯活動や意識の啓発、青少年の健全育成・非行防止を推進して、犯罪のない安全で安心して暮らせる地域社会を築く。		
2 事業実施期間 99 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 4,551	21年度決算額 (千円) 4,551
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・ニュースやメール配信、防犯パトロールなど、様々な防犯活動に協会が取り組むことに活用されており、評価したい。 ・防犯協会の活動は効果的であったと判断する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・自転車盗難対策については、学生の自転車なのか一般の自転車なのか、それぞれターゲットを絞り、ツーロック等の対策の推進・啓発活動を。 ・年々増加する犯罪や青少年を取り巻く環境が変化している中で、存在が重要になっている。情報共有の仕組み、特に小中学校やPTA・地域ボランティア、商店などを検討する必要がある。		
③ 23年度予算編成への提言 ・前年度と同額程度の必要予算の確保に努力されたい。 ・算出根拠を明確にし、警察関係機関の予算割当てなど市支出分を削減されたい。		

No. 66

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 広報活動費 担当： 広報課

決算書ページ P. 117	2款1項9目	備考No.1(2)
---------------	--------	-----------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

<p>1 事業内容及び目的 市の最新情報をより見やすく、充実した内容で提供できるようにホームページをリニューアルした作成費、市の概要や魅力などを県内外にPRするために全面改訂した「市勢要覧」の作成費、FM島田で週5日放送している行政広告番組「藤枝トピックス」の制作費などが主なもので、市政情報や市民生活に関連した情報を市内外に広くPRすることを目的に実施している。</p>		
2 事業実施期間	21年度予算額 (千円)	21年度決算額 (千円)
99 ~ 99 (継続)	13,818	13,587
以下、決算特別委員会委員審査用		
<p>① 21年度の進捗 (決算) についての評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国広報コンクールで入選したように、HPは以前より数段見やすくなり、セキュリティー機能もアップされた点、アクセス数も増えるなど評価できる。 ・今後はもう少しタイムリーな広報を期待する。 		
<p>② 課題解決に向けての意見・提案等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPは、最新情報を載せる新鮮さが大切である。 ・HPは修正等に対応可能と思われるので努力をしていただきたい。紙媒体については、迅速性など注意しないと誤情報となってしまう可能性を持つ。 ・FM島田との連携について、災害時などの効果を含め検証すべきである。 		
<p>③ 23年度予算編成への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同額程度の必要最低限の予算の確保 		

No. 243

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 岡部宿内野本陣整備事業費

担当： 市民文化部
街道・文化課

決算書ページ P. 263	10款 4項 9目 備考No.3
---------------	------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 内野本陣跡は、旧岡部町において、昭和48年4月に町指定文化財に指定され、平成16年度に整備に関する基本構想を策定して、平成20年度に土地・建物を取得している。 本施設は、街道・宿場の文化財を保存・伝承していく上で重要な史跡であり、隣接する大旅籠柏屋などとの一体的活用により、歴史文化資源を活用した地域づくりと市内外への情報発信や交流の場とし、文化財の保存・伝承と地域活性化に寄与する。		
2 事業実施期間 16 ～ (継続)	21年度予算額 (千円) 35,453	21年度決算額 (千円) 35,307
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・宿場町の保存・伝承の核づくりの一步と受け止め、整備事業基本計画策定に向け取り組んでおりその点で評価する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・定期的な地元との情報・意見交換をしてすり合わせをしながら、コストを抑える中で、どこまで整備していくかのコンセンサスを得てほしい。 ・岡部宿の一体的施設としての役割が果たせるように、今後の工事を進めてもらいたい。 ・集客数をアップするため地域住民を巻き込み、内野本陣の良さを引き出し、地域活性化に結び付けたい。(集客アップ、事業効果の厳しい検証が必要である。)		
③ 23年度予算編成への提言 ・平成22年度までにまとめられた整備計画が適正なものであるか評価されたい。		

No. 275

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 全国PK選手権大会事業費補助金

担当： 市民文化部
スポーツ振興課

決算書ページ P. 266	10款5項1目備考No.3-(1)
---------------	-------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 市民のシンボルスポーツであるサッカーの普及・振興を図るとともに、個性を生かしたまちづくりの一環として、「サッカーのまち藤枝」を広くアピールするために、PK大会を核としたサッカーイベントとして全国に情報発信する。		
2 事業実施期間 平成5年度～継続	21年度予算額 (千円) 7,000	21年度決算額 (千円) 7,000
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・新たなコースも加えるなどの工夫はされており、参加者も増えた点では評価する。 ・開催に向けた努力と運営がスムーズに展開されたと評価する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・「全国」と銘打っての大会開催であり、まさしく全国から参加してもらえるような状況づくりを展開し、経済効果をもたらしたい。 ・県内外のサッカー協会など、JFAへのPR要請を行うなど、地域予選の開催を呼びかける工夫はできないか。		
③ 23年度予算編成への提言 ・継続する。 ・費用対効果の再検討をしていただきたい。		

No. 128

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： (病院事業会計) 負担金 担当： 事務部
経理課

決算書ページ P. 179	4款 1項 8目	備考No.3(1)
---------------	----------	-----------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 地域の基幹病院としての役割を果たすため、藤枝市立総合病院の中期経営計画に基づき、医療内容の充実、経営基盤の安定、効率化に市立病院が取り組む一方、一般会計が負担するための経費について、繰出基準に関する総務省通知に基づき、「最大限効率的な運営をもってなお不足する、真にやむを得ない部分」のみを対象とし、藤枝市病院事業会計に支出する。		
2 事業実施期間 99 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 1,162,200	21年度決算額 (千円) 1,162,200
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・病院の資金繰りの改善が出来て医療体制の安定につながったと評価できる。 ・病院事業のうち市が負担しなければならない事業の中であっても社会の多様化により支出が増していく病院経営の資金繰りが難しくなっていく事による支出と考えるので評価する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・一般会計のキャッシュ(マネー)フローとの調整は的確に、改革プランとの一体的判断が必要。 ・一般会計の資金繰りに支障がなければ是とする。 ・負担支出により一般会計への影響が大きくなるように。 ・高度医療が地域病院に求められている現状からみて病院の資金繰りが一括支出になって体制強化がはかられれば成果をみとめたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・真にやむを得ない部分のうち、救急医療経費の圧縮、高度医療経費の節約、ICU経費の減額に目標予算を定めていきたい。 ・各繰出しを明確化し、その妥当性についてしっかり吟味してもらいたい。		

No. 129

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： (病院事業会計) 出資金 担当： 事務部 経理課

決算書ページ P. 179	4款 1項 8目	備考No.3(2)
---------------	----------	-----------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 地域の基幹病院としての役割を果たすため、藤枝市立総合病院の中期経営計画に基づき、医療内容の充実、経営基盤の安定、効率化に市立病院が取り組む一方、病院の建設改良に要する経費について、繰出基準に関する総務省通知に基づき、「最大限効率的な運営をもつてはなお不足する、真にやむを得ない部分」のみを対象とし、藤枝市病院事業会計に支出する。		
2 事業実施期間 99 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 648,400	21年度決算額 (千円) 648,400
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗 (決算) についての評価等 ・ 医師確保と看護師の確保に前向きに取り組んでいる事は大きく評価する。継続してはじめて効果のある事業であるので引き続き努力を切望する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・ 医療機器などの建設改良事業への支出のあり方 (3条か4条か) について経営改善への動きと内部留保資金捻出への考えにおけるバランスの検討。 ・ 内部留保資金捻出も含めた改革プランにおける (4条) 出資金のあり方再検討。		
③ 23年度予算編成への提言 ・ やむを得ないを理由に病院経営により多額の負債を後年度に繰越すのはやはり避けたい。少なくともややゆとりのあるうちに、削れるものは削って負債を少なくしていきたい。 ・ リース等も含め出来る限り新機種の機器を導入されるよう予算化されたい。		

No. 369

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 放課後児童健全育成事業費（運営）

担当： 健康福祉部
児童課

決算書ページ P. 159	3款3項1目備考No.
---------------	-------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 青少年の健全育成の視点から、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している概ね10歳未満(3年生)の児童に対し、授業の終了後、児童厚生施設等を利用して適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的としている。 本市では、放課後児童クラブの施設の提供を市が行い、運営を地域で組織した運営委員会がおこなう公設民営方式で市内15小学校区で実施。(岡部地区2校については、公設公営にて実施)		
2 事業実施期間 H10~99	21年度予算額(千円) 62,221	21年度決算額(千円) 60,763
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・公設民営方式定着のための課題整理の必要性が提起された。 ・市内全小学校に設置されたことは大きく評価するが、運営委員会と行政との関係でいまいちな点があった部分が伺える。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・運営委員長や会計に負担が掛からないよう行政側からの関与が求められる。 ・各地域での運営委員会のあり方に統一性やどんな指導がされているのか見えてこない部分がある。社会福祉協議会が中心となって適切な管理監督が必要ではないか。 ・運営委員会任せでは無く市が責任を持って前面に出て対応すべきことである。		
③ 23年度予算編成への提言 ・厳しい財政ではあるが、子育て支援として将来を見据えた施策として従来どおりの支援をすべきと判断する。 ・賃金の安さや指導員不足など様々な課題があることから問題解決の方策を検討されたい。		

No. 468

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名：

妊婦健康診査費

担当：

健康福祉部

健康推進課

決算書ページ P. 174

4款 1項 2目 備考No.1

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 妊婦や胎児の健康管理を図り、安心・安全な出産ができるよう妊婦健診の費用の負担を軽減し、積極的な受診を促すことを目的とする。 <input type="checkbox"/> 公費負担回数 : 最大14回/人 (20年度5回→21年度14回に拡大) <input type="checkbox"/> 実施方法 : 医療機関委託 <input type="checkbox"/> 実施内容 : 問診・診察・子宮頸がん検診・血液検査・尿検査・血圧測定 超音波検査 等		
2 事業実施期間 H9～99 (継続)	21年度予算額 (千円) 97,173	21年度決算額 (千円) 93,396
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・大きな予算執行のともなう事業であったが効果については利用者から大変悦ばれ成功した施策である。 ・安心して産める環境作りが進んだ。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・少子化対策の解決に向け更に発展をしたい。 ・交付金事業継続の県・国への要望を進め、更に妊婦の環境作りを拡大していく。		
③ 23年度予算編成への提言 ・制度の定着化を図り、不足の分は補正予算も視野に入れて推進すべきだ。 ・検査項目が追加される可能性もあり、その際には予算の上乗せの検討を。		

No. 478

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 特定不妊治療助成費

担当： 健康福祉部
健康推進課

決算書ページ P. 174	4款 1項 2目 備考No.2
---------------	-----------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 少子化対策の一環として、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。 <input type="checkbox"/> 対象治療：体外受精・顕微授精 <input type="checkbox"/> 所得制限：夫婦の所得合計額が730万円未満 <input type="checkbox"/> 助成費用：対象治療費のうち、1回あたりの上限額10万円 <input type="checkbox"/> 助成回数：2回/年間、通年5年間を限度		
2 事業実施期間 H21～99（継続）	21年度予算額（千円） 5,327	21年度決算額（千円） 5,327
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・ 出産へ結びついた状況を判断するとき不妊に悩む人にとっては有効な事業と評価。 ・ 新事業として大きな成果をあげたことを感謝したい。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・ 自己負担が重いことから近隣市町と格差ないように助成されたい。 ・ 成果もでてきており、利用者へのアンケート等を実施してみてもどうか。		
③ 23年度予算編成への提言 ・ 今後も経費との関わりで悩んでいる人が多い。出来るだけの範囲で本年以上の予算を計上して継続されたい。 ・ 課題にも書かれているが、近隣市はどうか。助成額の上乗せの検討を。		

No. 859

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 生ごみ減量化対策事業費

担当： 環境水道部
生活環境課

決算書ページ P. 181	4款 2項 1目 備考No.
---------------	----------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 目的 燃やすごみの約60%を占める「生ごみ」を分別し、生ごみ処理機で堆肥化して施設農園や市民農園などで利用する循環型社会構築の可能性とごみ減量化対策の有効性を検証する。 事業内容 事業対象 葉梨西北農業活性化施設及び周辺の家庭から出る生ごみ 設置機器 大型業務用生ごみ処理機 1台 処理能力：50kg/日 処理方法：バイオ式 規格：W1977×D995×H975 設置場所 葉梨西北農業活性化施設敷地内（藤枝市北方） 事業期間 21年度～22年度（農村地域）		
2 事業実施期間 平成21年度～平成22年度	21年度予算額（千円） 1,700	21年度決算額（千円） 1,133
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・家庭ごみの資源化はごみ処理費用の減少にも繋がり、テスト段階とはいえ、評価すべきである。 ・初めて設置されたものであり、比較できるものがないが、チャレンジした点では評価したい。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・各家庭に普及するにはもう少しサンプルやモデル個数を増やし、広く広報する必要がある。 ・コスト高などで克服する課題も多いが、生ごみ対策として継続研究すべきである。 ・地域にあった規模で実施することが、クリーンセンターの負荷を少なくすることになる。		
③ 23年度予算編成への提言 ・ごみ減量、処理コストの減少に向け、もっと大胆に施策の展開を図るべきである。		

No. 625

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 茶どころ推進事業費

担当： 産業振興部
農林課

決算書ページ P. 195	6款 1項 3目備考No.
---------------	---------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 市民を対象としたお茶の淹れ方教室を開催し藤枝茶をPRした。 藤枝市の特色あるお茶やその文化を広く紹介し、茶どころとしての藤枝をPRすることを目的とする。		
2 事業実施期間 平成21年度～	21年度予算額 (千円) 450	21年度決算額 (千円) 350
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・市主催のお茶の淹れ方教室等を開催した点を評価する。 ・実施回数・場所の工夫など、機会を増やせないか。 ・本市の特産農産物の柱である茶の栽培・加工・販売を、今後も守るだけでなく、攻めの事業展開を望む。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・中学生層に狙いを定めて、茶の美味しさ、楽しさを感じさせる事業を展開してはどうか。（あわせて、スイーツのまちPRとの一体化はできないか） ・茶どころとしての情報発信していくのであれば、近隣市でネームバリューの高いところの取り組みを研究すべき。 ・茶どころ藤枝のPRには、子どもたちが参画しやすい企画をされたい。		
③ 23年度予算編成への提言		

No. 634

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： デュアルライフ推進事業費

担当： 産業振興部

中山間地域活性化推進室

決算書ページ P. 197	6款 1項 4目 備考No.4
---------------	-----------------

※上記事業は、全事業給点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 中山間地域活性化施設の紹介やイベント情報（体験プログラムなど）、空き家情報等のリーフレットを作成するとともに、観光、産業、風土、人材、文化など地域の魅力を伝える展示パネルを作成する。 リーフレット、展示パネルを通じて、交流者に中山間地域の魅力をPRし、デュアルライフに結びつくリピーターを作るとともに、新たな交流者を生み出すことを目的とする。		
2 事業実施期間 21 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 190	21年度決算額 (千円) 0.4
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・事業展開の迅速化を求める。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・家主の意識調査を進め、空き家対策の環境を整えてから、PRを進める。 ・リーフレットの活用と全国発信が必要。空き家バンクの利用を検討中とのことなので、利用に向けて取り組まれない。		
③ 23年度予算編成への提言 ・22年度の取り組みを見る中で、編成内容を検討されたい。		

No. 636

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 一社一村推進運動事業費

担当： 産業振興部
農林課

決算書ページ P. 197	6款 1項 4目	備考No.
---------------	----------	-------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 一社一村しずおか運動に取り組んだ、葉梨西北地区・瀬戸谷本郷地区にPR看板を設置し、運動の推進と周知を図る。 農山村集落と企業の持つ、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を活かし、双方にメリットのある協働活動の実施を目指す「一社一村しずおか運動」の推進に取り組み、地域の活性化に資することを目的としている。		
2 事業実施期間 平成21 ~	21年度予算額 (千円) 500	21年度決算額 (千円) 497
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・事業としてはスタートしたという印象。これから何が生まれるのかが見えてきたらと期待したい。 ・個性あふれる活動の情報発信に今一度再考し、肩を張らない事業として育てたい。 ・多くの企業はこの事業を知らないし、経済悪化の状況から、今一度、各企業にPRをされたい。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・協賛企業や団体に対するフォローと受入れ組織の更なる協議と協力に向けたレクチャーが必要ではないか。 ・一社一村運動の意義を再確認し、より明確な取り組みとして理解してもらう必要がある。		
③ 23年度予算編成への提言 ・何社が取り組まれるかによって金額が変わってくるので、目標設定をして取り組まれたい。		

No. 651

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 中山間地域総合整備関連事業

担当： 産業振興部
瀬戸谷総合管理センター

決算書ページ P. 199	6款 1項 6目 備考No.
---------------	----------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 平成21年度にオープンした葉梨西北活性化施設「白ふじの里」へ近隣市町からの適切な誘導の為、藤枝バイパス菰田ICのオフランプに案内標識を、県単観光施設整備事業により設置した。 葉梨西北活性化施設「白ふじの里」の展示コーナーには、空調設備が無く、夏場はかなり室温が上がり、農産物等が傷みやすく、また、お客様への影響も考えられるため、空調設備を設置した。		
2 事業実施期間 H19～99（継続）	21年度予算額（千円） 1,516	21年度決算額（千円） 1,511
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・新規スタート事業であり、定着までに少し時間がかかる。適切な指導とソフト面、経営面でのアドバイスが必要である。 ・1日も早い自立が望まれるが、行政の支援が必要である。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・ハード的な費用はひと段落のようなので、集客のための連携と、また来てみたいと思わせる品揃えと接客力の向上に向けた取り組みを求めたい。 ・特色のある施設に育て、地域を上げて取り組めるように支援すべきである。 ・言葉の割に内容が乏しい。地域住民の意識の問題の方が大きいのではないか。		
③ 23年度予算編成への提言 ・空調設備などの施設整備が済んで、誘導看板が主なものであれば、減額が可能ではないか。		

No. 599

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 企業立地促進事業費補助金

担当： 産業振興部
企業立地推進課

決算書ページ P. 206	7款 1項 2目 備考No.2
---------------	-----------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 新たな設備投資による企業の負担を軽減し、藤枝市内への進出または留置につなげるため、優遇制度である企業立地促進事業費補助金制度を設け、「1,000㎡以上の土地を取得（借地を含む）し、雇用増を伴い、工場等の新增設を行う企業に対して、用地取得費及び雇用増への補助金」を交付し、企業を支援する。		
2 事業実施期間 H16～99	21年度予算額（千円） 88,113	21年度決算額（千円） 88,100
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・ 税収の拡大には必要な事業である。本年度の取り組みを評価し、次年度以降の拡大に期待する。 ・ 企業に来てもらいたい自治体間競争の中では必要なものであり評価できる。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・ 検討されていると思うが、環境に配慮した取り組みをしている企業には補助の上乗せをするなど、他の名目での補助金の研究も必要になっている。 ・ 国道等幹線に面している未利用地の統合等にも市は積極的にかかわり、進出企業の手助けを期待したい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・ 本市から他市に移転防止のための予算化が必要ではないか。 ・ 現状の予算額は最低限でも必要と認識している。		

No. 751

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 橋梁（大規模）長寿命化修繕計画策定事業費 担当： 都市建設部
道路課

決算書ページ	P. 214～215	8款 2項 1目	備考No. 3
--------	------------	----------	---------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 今後、高齢化する道路橋ストックが急増することを踏まえ、これまでの事後保全型から予防保全型の資産運用への転換を図り、市民の資産を長く大切に使う必要がある。また、安全で安心な道路サービスを提供しつつ、将来発生する恐れのある東海地震に備えるため、震災に強いライフラインの確保が必要となる。このことから橋梁点検を実施し、点検結果を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画を策定するものである。		
2 事業実施期間 H21～H24	21年度予算額（千円） 3,500	21年度決算額（千円） 3,238
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・市民から理解・納得が得られる計画に繋げてほしい。 ・将来のためにも必要不可欠でありマニュアルの策定等を評価する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・今後策定する修繕計画が実効性のあるものになることを期待する。 ・間もなく一斉に50年の耐用を迎える橋梁への対応をあらゆる面から検討・計画する必要がある。		
③ 23年度予算編成への提言 ・ライフラインの確保に欠かせないとの認識の中で、計画策定に必要な予算編成を願いたい。		

No. 744

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 第2種交通安全施設整備工事費

担当： 都市建設部
建設管理課

決算書ページ P. 217	8款 2項 3目	備考No.
---------------	----------	-------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 交通事故の原因として、道路環境の不備が起因しているものも少なくない。このことから、交通事故の発生を抑制するため、交通安全施設を整備するものです。		
2 事業実施期間 99 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 34,500	21年度決算額 (千円) 34,485
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗 (決算) についての評価等 ・自動車社会を安心して暮らせる必要な設備の改善や新設を評価する。 ・未然防止策として必要なことであり、併せて道路環境の不備について引き続き継続していく必要がある。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・地域の住民から要望や改善を求められる最大の要件を予算の中で、どう実施していくのか。今後も引き続き展開されたい。 ・地域からの要望があった場合、必ず現場を踏査し、緊急度を速やかに判定して、整備に着手していきたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・日常生活で避けられない必要な緊急性の高いものから実施をして要望に答えて行ける予算編成をする。		

No. 760

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 天王町仮宿線（潮・仮宿）道路整備事業費 担当： 都市建設部
道路課

決算書ページ P. 216～217 8款 2項 1目 備考No. 2(1)

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 新東名ロングランプの築造により市道岡部八幡線の通り抜けができなくなるため、地域の交通利便性を確保するためには当区間の整備が必要となる。 短期的には、市道の迂回路としての機能回復が整備の目的ではあるが、長期的には、志太中央幹線とロングランプを結ぶ重要路線として整備が必要である。 本路線を整備することにより、新東名ICへのアクセスが容易になり、新産業ゾーンを含む周辺地域の発展が期待される。		
2 事業実施期間 H13～H25	21年度予算額（千円） 167,000	21年度決算額（千円） 124,000
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・新東名に合わせての工事としての進捗に配慮が必要なことは理解できる。必要とされる工事は積極的に行う。 ・必要不可欠であり、評価したい。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・計画途中のアクセス道路で早期の完成が期待されている。限られた予算で有機的な投資を目指したい。 ・ロングランプの築造工事と河川の整備を合併施行により、工事費の縮減を図りたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・多額の費用が伴う設備投資であるがゆえに、来年度も予算確保に努められたい。 ・前倒しで供用開始できるような予算編成を望む		

No. 843

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： わが家の耐震対策助成事業費

担当： 都市建設部
建築住宅課

決算書ページ P. 224	8款 4項 2目 備考 No.1(1)
---------------	---------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 事業内容 昭和56年以前の耐震性の劣る木造住宅（耐震評点 1.0未満）に対し、耐震補強工事費用の一部を助成する。 助成額 基本額400千円：高齢者世帯等の割増額200千円 事業目的 東海地震に対する人的被害及び経済被害を減少させるために実施する。		
2 事業実施期間 平成14年度 ～ 平成27年度	21年度予算額（千円） 51,606	21年度決算額（千円） 48,882
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・助成金額の引き上げは評価する。対策事業の実績が多くなり、努力が見える。 ・前年度比37%増加の耐震工事ができたことは評価できる。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・耐震工事の促進は安心して住める家の基本である。助成事業の推進と情報提供に引き続き努められたい。 ・戸別訪問を続け、市民の理解を深めたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・割増助成の条件の見直しの検討を。		

No. 818

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 中心市街地活性化推進事業費

担当： 都市建設部
中心市街地活性化推進室

決算書ページ P. 227	8 款 5 項 1 目 備考No.8 (1)
---------------	------------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 低炭素社会の形成に貢献し、少子高齢・人口減少に対応するコンパクトで賑わい創出と街なか居住を実現するまちづくりを図るため、中心市街地活性化基本計画(H20/3認定)に基づき、事業を実施している。なかでも、駅北口の市街地再開発事業実現に向けた取り組みが中心となっている。		
2 事業実施期間 20 ~ 99 (継続)	21年度予算額 (千円) 18,700	21年度決算額 (千円) 18,327
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・計画に位置づけた目標指標も順調に進んでいる。評価する。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・再開発ビルが十分活用されるだけのしっかりした準備が必要である。 ・課題は整理されているが、再開発に向け地権者と粘り強く合意形成に努められたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・まちづくり藤枝との連携に基づく予算化を望む。 ・委託料の精査を望む。		

No. 966

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 英語指導助手諸経費 担当： 教育部
 学校教育課

決算書ページ P. 243	10款 1項 3目 備考No.5 (1)
---------------	----------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 新学習指導要領の改訂により、小学校は5・6年生で年間35時間週1コマ相当の外国語活動が新設され、H23年度より完全実施となるため、21,22年度は移行期間として年35時間以内で先行実施した。英語に堪能な地域在住の外国人を活用、市内全17小学校を6人のALTが巡回指導を行った。 中学校については、外国人ALT英語指導業務委託を(株)インタラックと長期継続契約(3年)し、外国人ALT3名による全中学校への巡回指導を行っている。		
2 事業実施期間 H元～99(継続)	21年度予算額(千円) 20,687	21年度決算額(千円) 19,357
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗(決算)についての評価等 ・23年度に向けて、スムーズに取り組んでいると評価できる。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・教育日本一に向けた取り組みの中で、小中が連携して英語を教えていくモデル授業を研究されてはどうか。		
③ 23年度予算編成への提言 ・英語教育の必要性を認識するが、実際の展開には十分な意思疎通をはかり、一方的にならないよう配慮されたい。 ・今後のことを考慮すれば、増額を検討することになる。		

No. 967

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 適応指導教室等活動事務費

担当： 教育部
学校教育課

決算書ページ P. 243

10款 1項 3目 備考No.6 (1)

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 学校だけでは対応しきれない困難な問題が多くなっている中、不登校等児童生徒に対して、集団への適応指導及び本人、保護者との面談、あるいは電話による相談等を実施し、学校復帰への支援を行ったり、心の安定を図ったりしている。不登校児童生徒の早期発見、早期対応をはじめ、きめ細やかな支援を行うため、指導員5名、訪問相談員1名、カウンセラー1名を配置している。		
2 事業実施期間 H4～99（継続）	21年度予算額（千円） 11,190	21年度決算額（千円） 11,052
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・対応の難しい事業であり、実情を評価する。 ・学校復帰した割合は61.9%と評価は大きい。個の対応に心がけていることが効果につながっている。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・教員OBだけでなく、広く市内に在住する児童心理カウンセラー等の発掘・活用を求める。 ・大変忙しい教師の手助けになるような行政支援をされたい。		
③ 23年度予算編成への提言 ・不登校ゼロを目指すための予算措置を考えるべきである。 ・指導員不足を解消する待遇改善措置が必要なことから、予算増をされたい。		

No. 969

平成21年度事業評価 決算審査用調書

事業名： 心の教室相談員活用事業

担当： 教育部
学校教育課

決算書ページ P. 243	10款 1項 3目 備考No.6 (2)
---------------	----------------------

※上記事業は、全事業総点検シートからの抽出のため決算書の款項目等を記入する。

1 事業内容及び目的 生徒及び保護者が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る者を身近に配置し、心のゆとりを持てるような環境を提供するために、中学校全校に「心の教室相談員」を配置する。		
2 事業実施期間 H15～99（継続）	21年度予算額（千円） 3,090	21年度決算額（千円） 3,088
以下、決算特別委員会委員審査用		
① 21年度の進捗（決算）についての評価等 ・悩みや問題を親子に適切に指導できる本制度は大変重要であり、確実に成功してほしい。		
② 課題解決に向けての意見・提案等 ・時間と経験が豊かな指導者が必要である。早急な結論のみを求めず、接触することによっての感触を将来に生かしてもらいたい。 ・相談員の専門職という観点から、正規職員として質の向上を図り、ニーズに応えられるようにすべきである。 ・相談員の増員がのぞましいと思う。時間外対応について、関係者での検討はどうか。		
③ 23年度予算編成への提言 ・相談員活用について、きめ細かな対応を望む。 ・中学生の相談員不足は適応指導同様だが、最近は小学生にも心の相談が必要であることから、小学生まで範囲を広げ大幅な予算の増額をされたい。		